

無料化による波及効果をねらう



水海道有料道路の今後について



水海道有料道路

議員 水海道有料橋は、なかなか利用者伸びていないのが現状である。料金を惜しんで、美妻橋、豊水橋を利用し、橋に向かう交通が集中し、なかなか渋滞が解消されない。今後圏央道の開通に伴い新たな流れが生まれることにより、通勤時間帯に限らず慢性的な渋滞が起こることも考えられる。日常的に無料で通行できることで生まれてくる波及効果もあるのではないかと、以前行われた無料化実験の結果と考察について尋ねる。

都市建設部長

料金無料時は交通量が4.5倍、半額時は1.4倍に増加した。美妻橋と豊水橋の交通量が減少し、水海道有料道路に多くの台数が流入したと想定される。

議員

水海道有料橋が無料橋になれば西部地区に点在している工業団地の関連企業の誘致が望めるのではないかと。新しい企業が誘致されることで雇用が生まれ、税収が生まれ、市としては嬉しいことが多々あるのではないかと。

都市建設部長

無料化は、市内の交通アクセスを改善し、人と物の流れが活性化されるということで重要であると考えている。

議員

早期無料化の考えはあるか。

都市建設部長

減収額を補填すれば無料化できるが、現在の市の財政状況を考えると市単独では困難である。

議員

欠かせないのは当市の強力な決断力、早期の方向づけではないか。子どもたちの通学路の安全確保の面でも、先行的に登下校の時間帯だけでも無料化・半額化を検討してもらいたい。



アイ・エターン女性と農業による地域活性化

常総インターチェンジ周辺整備事業について

議員

現在、都会から出身地とは違う地方へと移り住むアイ・エターン女性が増え、農業の楽しさを伝えるテレビ番組も人気で、今農業、また地方に対して大変注目が集まっている。アグリサイエンスバレーの事業が成功し、若い世代の定住が見込めれば、そこから商業の発展、常総市のイメージアップにもつながっていくと思う。全国に先駆けた事業を展開し、若い人たちが希望をもって住みたいと思えるまちになってもらいたい。業者やコンサルタントの企画をそのまま受けるのではなく、市独自の縦軸で、里山資本主義的なあるものを生かすといった視点も取り入れる。また人口減少問題には、出産する年代の女性をいかにひきつけるかが大切になる。今後の農業政策の方向性、農業従事者の高齢化対策について伺う。

議員

新規就農を促す仕組みとは、具体的にどのような考えか。

産業拠点整備課長

ビニールハウスを賃貸し、賃料は収穫した野菜の販売代金で支払うシステムで、初期投資のリスクを軽減させるものである。

市長

これからの時代は間違いなく新しい農業の時代になってくると思っている。この事業は時代を先取りした日本でも珍しいモデルになるような事業だと確信している。議会の皆さんと力を合わせて頑張っていきたい。

都市建設部長

若い世代が新規就農し、軌道に乗れば独立開業できる仕組みについても今後検討していきたい。

関 優嗣 議員

堀越 輝子 議員

